

奥山・久米寺金堂跡発掘調査現地説明会資料

奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部

1989年9月30日

◎所在地：高市郡明日香村奥山

◎庫裡改築に伴う事前調査

◎調査期間：1989年8月29日～（継続中）

◎調査面積：約240㎡

◎奥山久米寺とは

飛鳥には、飛鳥時代に創建された大寺院が多く存在する。奥山久米寺もその一つである。現在は浄土宗の小寺院で、境内地に江戸時代の庫裡と鎌倉時代の十三重石塔などを残すのみとなっていた。飛鳥地方の古代寺院の多くは多少なりとも文献に記載され、縁起や歴史などが知られるが、奥山久米寺についてはまったく記録を欠いている。縁起については、橿原市の久米寺の奥院説、その前身説、久米皇子の発願による寺院説などがあるが、いずれもあやふやなものである。また、大官大寺の前身である高市大寺にあてる説もあるが、疑問がもたれている。

◎従来の調査成果

当調査部では、1972年以降、奥山久米寺周辺で家屋の改築などにもなう事前の発掘調査をたびたびおこなってきた。主要な調査としては、西面回廊基壇（1972・73年）、寺域の南限を区画する掘立柱塀（1977年）、塔跡東北100mでの寺の付属施設とみられる平安時代初頭の井戸（1977年）の発見がある。

1987年には、塔基壇を発掘。塔は、一辺約12m、復原高1.45mの基壇もち、建物は平面方三間、2.2m等間に復原できる。基壇周囲には二重に犬走り状の壇がめぐる。基壇外装と階段は改修を経ている。塔から北へは幅約3.8mの参道がのび、参道上には灯籠が立っていた。

◎ 今回の調査成果概要

主要検出遺構は 1：金堂 2：参道（金堂前） 3：境内瓦敷である。

1. 金堂（7世紀前半）

南を正面とする。基壇規模は東西23.4m（80尺）前後、南北規模は未確認（おそらく18m前後）。基壇の高さは不明（残存高0.4m）であるが、1m以上であろう。基壇の周囲には幅約0.7mの犬走りめぐる。基壇化粧には凝灰岩切石、地覆は花崗岩切石を用いたと思われる。犬走りの縁石は花崗岩自然石だが、これは改修時のものの可能性が高い。礎石位置は現状では不明である。塔から金堂へ向かう参道に面して階段がつく。階段の幅約3.8m、出は約1m。階段の地覆は花崗岩切石、耳石・段石は凝灰岩切石をもちいる。基壇は掘り込み地業・版築により造成している。掘り込み地業は、地覆石の位置までの範囲で、深さは旧地表から1.2mに及ぶ。塔・金堂心間距離は約30mである。

2. 参道（7世紀後半）

塔と金堂をつなぐ。長さ約12m、幅約3.8m。参道の側石は花崗岩自然石を用い瓦を敷く。

3. 境内瓦敷（奈良時代）

金堂の周囲は、瓦を全面に敷いている。瓦敷の瓦は7世紀前半～7世紀末・8世紀初頭の時期のものが多いが、一部奈良時代の瓦を含む。回廊内全面に敷かれていたと思われる。

◎ 出土遺物

主要な出土遺物は軒丸瓦・軒平瓦、丸・平瓦、鬼板、埴仏で、大半は7世紀～8世紀初頭までのものである。軒瓦は奥山久米寺式単弁八弁蓮華文軒丸瓦が圧倒的に多く、ついで山田寺式の単弁八弁蓮華文軒丸瓦・重弧文軒平瓦のセットが多い。奥山久米寺式軒丸瓦は7世紀前半の中頃のものである。山田寺式は塔所用の瓦である。

◎ まとめ

金堂の規模が推定できるようになった。飛鳥地域の7世紀代の主要寺院の金堂と比較すると（表参照）、久米寺金堂は基壇規模では山田寺金堂をしのぎ、川原寺中金堂に近い。金堂建物の規模は不明であるが、桁行は5間となろう。築造時期は基壇積土の状況から判断して7世紀後半建立の塔より古く、出土瓦からみて、飛鳥時代初期、7世紀前半の中頃までさかのぼる可能性が高い。

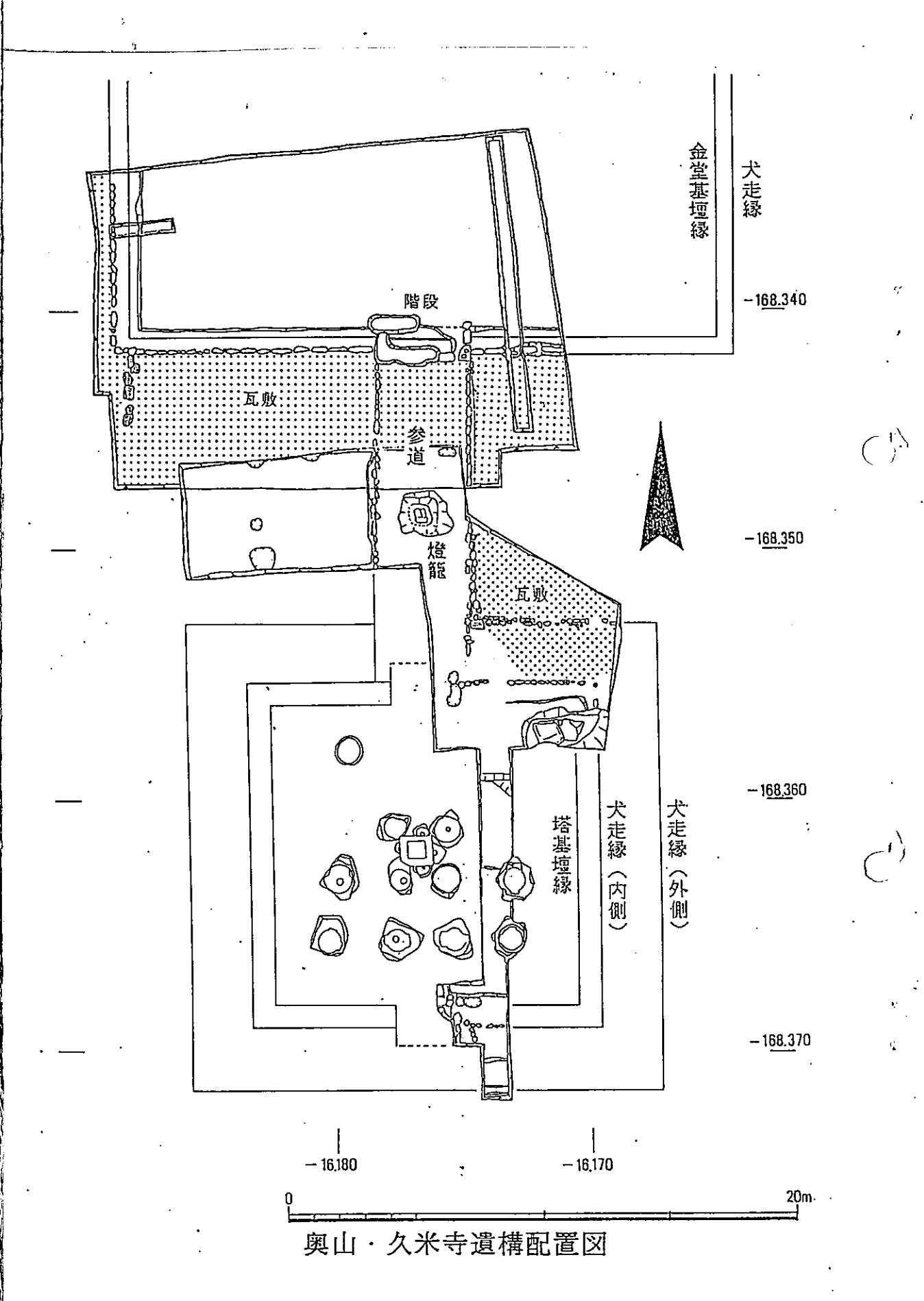
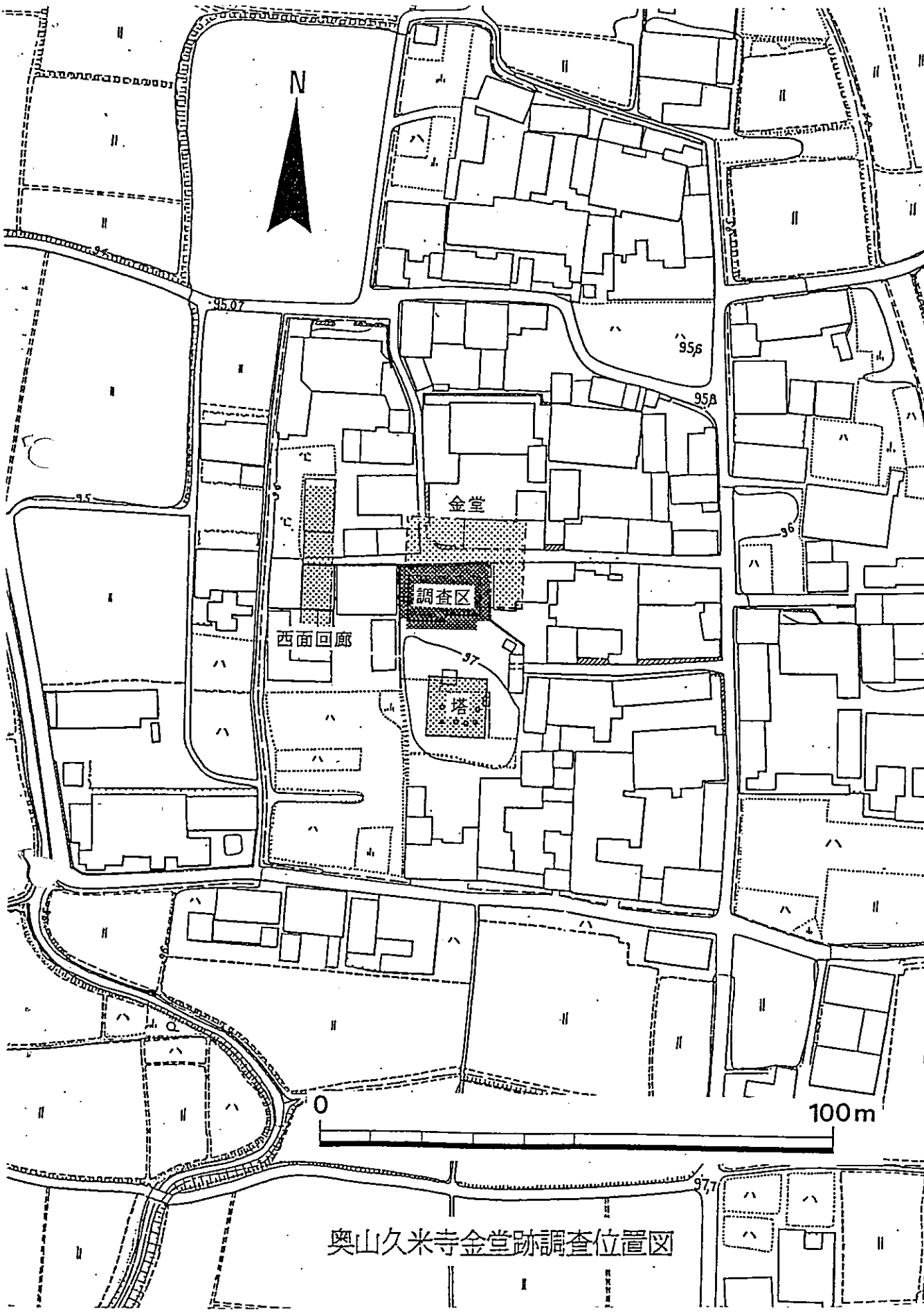
伽藍配置は、塔・金堂・講堂が南北に並ぶ四天王寺式か山田寺式となる。講堂は、かつて石田茂作博士が推定したように、金堂の北方にある微高地とするのが妥当である。金堂基壇北縁から講堂基壇南縁推定地までの距離は約25mで、山田寺の約42mに比べて狭く、四天王寺式の配置をとる可能性が高い。

今回の調査で、金堂遺構が基壇の上半は削られているものの、犬走り・階段・周囲の瓦敷・参道について、きわめて良好な状況で検出できたことは、大きな成果である。花崗岩・凝灰岩切石を使った基壇

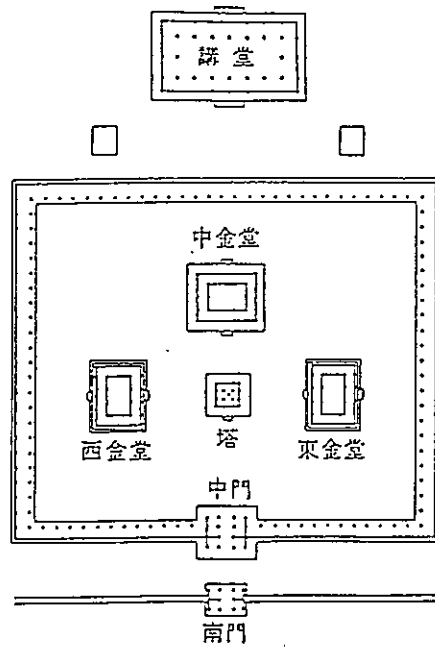
化粧、入念な基壇構築法は飛鳥諸寺の中でも、一級の内容の寺院であることを窺わせる。

飛鳥時代主要寺院金堂規模比較表

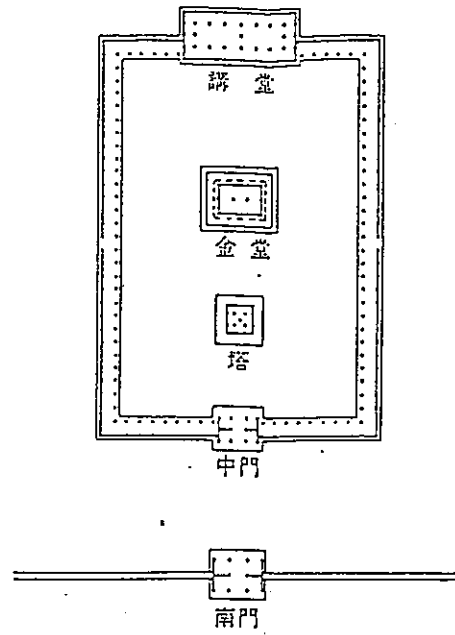
寺名	柱間数	桁行(m)	梁行(m)	基壇規模(m)
川原寺中金堂	5×4	16.8	12.0	24×19.2
奥山・久米寺	5×4か	—	—	23.4×—
山田寺	3×2	15	12	21.6×18.2
飛鳥寺中金堂	—	—	—	21.2×17.5
法隆寺	5×4	14	10.8	20.6×17.2
飛鳥寺西金堂	5×4	—	—	上成 18.6×14.0 下成 20.1×15.4
橘寺	—	—	—	20×16.6
桧隈寺	5×4	13.9	11.4	上成 16.4×13.9 下成 18.0×15.5



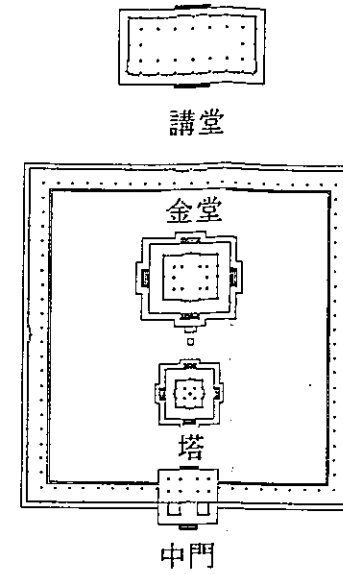
古代寺院伽藍配置比較図 (1:2000)



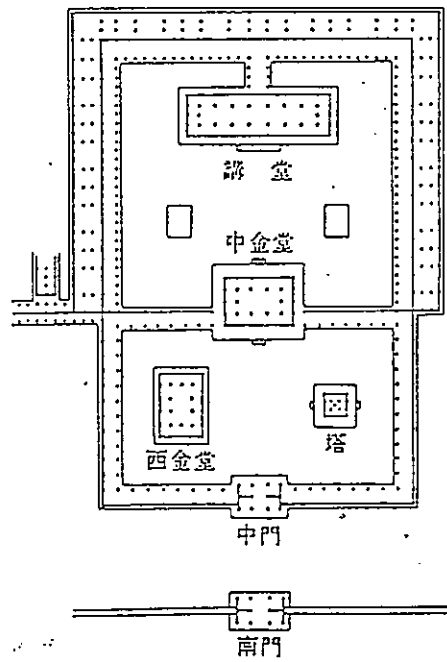
飛鳥寺



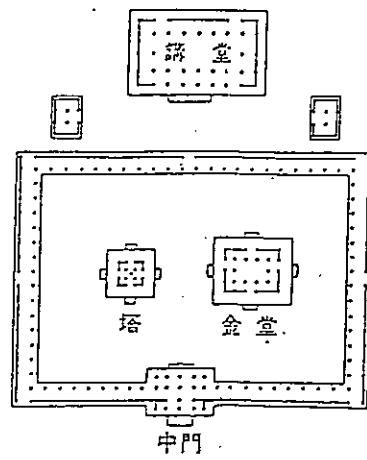
四天王寺



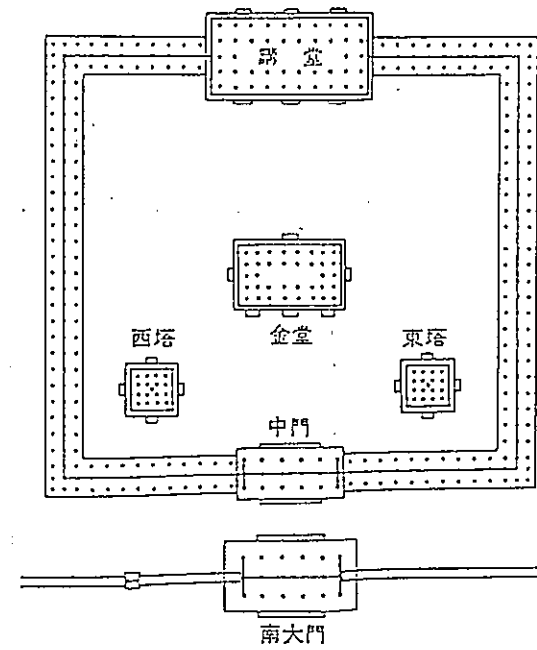
山田寺



川原寺



法隆寺



薬師寺

